

## 授業概要

科目名	言語聴覚障害概論			授業の種類	講義	講師名	
授業回数	15 回	時間数	30 時間	1 単位	必修・選択	必修	配当学年 時期
ST1年 通年							
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>言語聴覚障害の基礎知識を習得し、評価・診断および臨床の流れと基本的な手法について理解できる。</p> <p>国家試験に則した基礎的知識を身につける。</p>							
<p>【実務者経験】</p> <p>言語聴覚士として病院に勤務し、成人分野の急性期から慢性期までのリハビリに従事する。</p>							
<p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>言語聴覚士の業務に関わる基礎的な知識を習得するとともに、基本理念や倫理観を学ぶ。</p> <p>言語聴覚士の業務に関わる基礎的な知識を習得する。</p>							
<p>【授業終了時の達成課題（到達目標）】</p> <p>言語聴覚士業務について説明することができる。</p> <p>国家試験に則した基礎的知識を身につけることができる。</p>							
回数	講義内容						準備物(教材)
1	オリエンテーション・言語聴覚士の役割について理解できる						教科書 配布資料
2	言語聴覚士について、求められる資質・能力を理解できる						教科書 配布資料
3	言語聴覚士法について理解できる						教科書 配布資料
4	言語聴覚士法について理解できる						教科書 配布資料
5	言語聴覚療法の基本理念について理解できる						教科書 配布資料
6	言語聴覚療法とその過程について理解できる(ICF、リハビリ実施計画書の書式を含む)						教科書 配布資料
7	関連職種連携について理解できる						教科書 配布資料
8	言語聴覚士と倫理について理解できる(倫理綱領・医療倫理・研究倫理含む)						教科書 配布資料
9	リスクマネジメントについて理解できる□						教科書 配布資料
10	前期復習						教科書 配布資料
11	言語聴覚障害の種類について理解できる(主に失語症、高次脳機能障害)						教科書 配布資料
12	言語聴覚障害の種類について理解できる(主に運動障害性構音障害、嚥下障害)						教科書 配布資料
13	言語聴覚障害の種類について理解できる(主に聴覚障害)						教科書 配布資料
14	言語聴覚療法の歴史について理解できる						教科書 配布資料
15	総復習						教科書 今までの配布資料
	定期筆記試験						
<p>【使用教科書・教材・参考書】</p> <p>『標準言語聴覚障害学 言語聴覚障害概論 第2版』医学書院</p> <p>『言語聴覚士テキスト 第4版』医歯薬出版</p>							
<p>【準備学習・時間外学習】</p> <p>授業で行う内容の予習・復習を行ってください。</p>							
<p>【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】</p> <p>試験の結果を100点満点として成績を評価する。</p> <p>試験は定期試験のみ実施し、60点以上の場合に科目を認定する。</p>							